

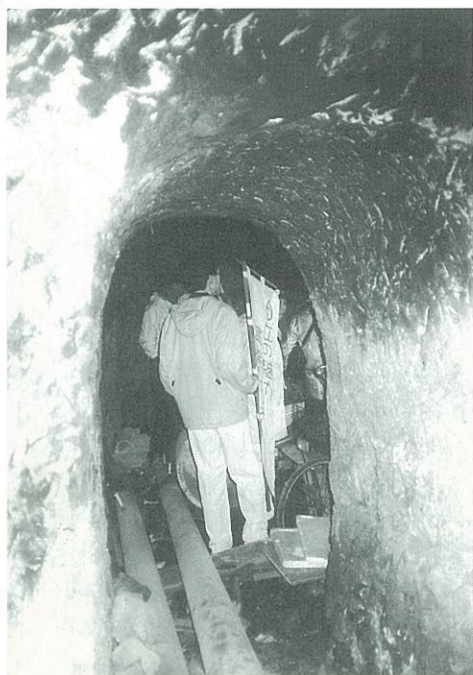
# こみこみ

日立市のコミュニティ情報紙

発行：日立市コミュニティ推進協議会  
編集：コミュニティ情報紙編集委員会  
〒317-8601 日立市助川町1-1-1  
日立市役所市民活動課内 Tel 22-3111  
Fax 21-7000

No. 6

2001、4、5



## 最優秀賞 (上)

### 「薬之神社」

撮影地：日立北IC付近

撮影者：遠藤昭儀さん (日高町)

ウォーク実施学区：日高学区

## 再発見賞 (左)

### 「今も利用されている防空壕 すごい！」

撮影地：会瀬町1丁目

撮影者：染谷武俊さん (本宮町)

ウォーク実施学区：会瀬学区

## 目次

単会リレー訪問	
河原子連合自治会	2
滑川地区市民運動実践会	3
ザ・特集	4
まちづくりにワークショップを!	
「私のリーダー論」	6
下館市・川島親子クラブ「小さな部屋」	
会長 藤川 寧子さん	
グループ情報	7
日立助産婦会	
わがまちのガンバリ屋さん	8
日立のよいところ	8

平成12年秋に大好きいばらき県民会議と当協議会の連携で総数645人の参加で「日立の魅力再発見ウォーク」が開催されました。同時に実施した「再発見フォトコンテスト」に多くの応募がありました。市内には隠れた、魅力あふれるスポットがいっぱいです。

# 観光客が年間を通して訪れる、海岸に！ 河原子連合自治会



会長 梅原 孝喜  
・問い合わせ 河原子コミュニティセンター  
TEL 33-3746  
・世帯数 2,503  
・人口 6,374  
(平成12年6月1日現在)

## 特色ある会の構成

河原子学区は、河原子海水浴場を中心に山側に広がった、東西1.8km、南北2.3kmの地域です。美しい砂浜が海岸線に広がり、海食崖の上部は海岸台地で、畑や宅地になっています。

河原子連合自治会は特色ある組織構成で運営されています。総務委員会・美化運動委員会・文化体育委員会・防災委員会・生活環境委員会・地域福祉委員会の6委員会で副会長3名が各2委員会を担当しています。

この6委員会に河原子連合自治会・青少年育成推進会・地区社協・コミュニティセンター運営委員会の4組織のメンバーが関連する委員会に参加しています。

役員会は4組織の役員と学区内にある婦人会・老人会・観光協会・PTAなどの18団体の長で構成されており、定期的に役員会議が開催されています。

## 花いっぱい・花壇づくり

国道245号線の旧駐在所跡地と梶沢川付近は海水浴場の玄関口なので、

きれいにしようと花壇づくりを進めています。

駐在所跡地(約243㎡)は子ども会・老人会が主体で進め、梶沢川(約500㎡)は連合自治会・各団体が担当しています。苗木の里親運動を行ったり、各団体からの資金助成などをいただいています。連合自治会子ども会・老人クラブが年1回、花壇づくりの計画についての会合を持ち、それに基づいて各団体が持ち回りで土の入れ替え、肥料の投入などによる土壌改良や月2回の草取り、灌水などを行っています。

この成果が実り、2年目にして日立市の花いっぱいコンクール子ども会部門で最優秀賞を受賞しました。これを機会に年間を通していつも花が咲いている花壇にしようと地域主体で進めています。



子どもも大人も力を合わせてきれいな海岸を

## みんなできれいに

地域の一斉清掃を年2回、初夏・秋に実施しています。毎回約500人が参加しています。河原子海岸には大きな流木が漂着するので、撤去作業に苦勞します。

海の日には河原子海岸で「ラジオ体操のつどい」と「あきかん・あきびん回収キャンペーン」を同時に開催し、地域住民の健康づくりと海岸の環境美化を図っています。他の地域の企業・ボランティア団体・少年団なども、海岸清掃に自発的に参加しており連合自治会では大変感謝しています。

## 海水浴客の安全を

海水浴シーズンを控えた6月に、河原子観光協会主催で、旅館や民宿客の避難・誘導の訓練や、地域住民による消火訓練が行われます。連合自治会の防災部も協力しています。

## 今後の展望

「観光地であり、地域住民が住みよいまちづくりを進めるためにも環境美化活動に特に力を入れたい」と梅原孝喜会長は話してくれました。



心をこめて大切に育てます

# 誰でも参加できる市民運動をめざして 滑川地区市民運動実践会



会長 遠藤 進  
 ・問い合わせ 滑川公民館  
 TEL 22-1654  
 ・世帯数 3,905  
 ・人口 11,004  
 (平成12年6月1日現在)

## 会の構成

滑川地区は日立北部にあります。6号国道を車で走ると、混雑する日立駅周辺から一転して道幅が広くなり、起伏に富んだ視界が広がる自然に恵まれた地域です。

滑川地区市民運動実践会は、滑川公民館を拠点にして活動しています。各種団体（PTA・老人会・婦人会など）、地区代表（26町内からなる6地区の代表で構成）、専門部（総務部・広報部・文化部・体育部・防災部・青少年育成部・環境整備部・女性推進部）で構成され、地区の文化協会・体育振興会・公民館・社会福祉協議会と連携を図っています。

悩みの種は除草作業。また、環境整備部は、違反広告物撤去推進委員会・滑川岡通り街路樹を守る会・北川を守る会と連携しています。

## コミセン型公民館のスタート

平成12年度に教育委員会からの委託を受け、平成13年度からいよいよ自主運営のスタートを切ることになりました。

公民館は97の自主グループが使用する部屋の管理、文化協会・体育振興会の事務局、社会教育を担当します。公民館の北に体育館、西にナイター設備のあるグラウンドがあり、その管理運営も公民館の仕事です。ただいま三世代交流のための新しい建物を増設しています。

## お年寄りにやさしく

現在滑川学区の独り暮らしのお年寄りは約100名。婦人防火クラブの女性たちがこの方たちのかまど点検をしたり、週1回2グループに分かれ夜8時から9時まで町内を「火の用心」と回っています。

昨年の敬老会では、シニア・ファ



「カッコいい」看板ができたなあ…早くホタルが見たいな



ッションショーを開催し大変好評でした。また、隔月で民生委員による独り暮らしのお年寄りのための食事をを行うなど、各種団体と連携を取りながらお年寄りにやさしいまちづくりを進めています。

## 子どもたちにホタルの光を

平成12年5月「なめかわホタルの里づくり事業」を始めました。はじめは、環境づくりを目的としましたが、子どもたちの社会教育・モラル育成にもなり、さらに地域住

民との連携へと発展しています。小学生13名によるホタル少年団を結成し、子どもたちは校長室で先生とともにホタルの幼虫を育てています。そして中学生と小学校PTAと老人会24名からなる里親たちは、自宅で卵を預かり飼育し川に放します。里親研修会も行いました。そして学校をぐるりと取り巻く北川支流の水路を整備して、ホタルの住める環境づくりを行い、えび・小魚・どじょうが増えてくることを期待しています。

## これから

21世紀のスタートとともに、みんなに開かれた会でありたいと「滑川地区市民運動実践会」の名称を変更するために準備をすすめています。

「マンネリ化からの脱皮・ふれあいのまちづくりをみんなの手で」をモットーにさらに活動を進めていきます。



# 楽しく活動・後継者づくりも忘れずに！

藤川 寧子 川島親子クラブ「小さな部屋」会長

### 楽しい子育てを

結婚と同時に見ず知らずの土地に住み、親、親戚の全く居ない所で子育てをした。生まれて初めての産婦人科も駅の看板を見ていった。育児書片手の子育てだった。振り返ってみて、一生懸命育てたなーというのが実感。子育てが一段落して、今の若い人に孤独でなく楽しく余裕を持って子育てしてほしいとの思いから、昭和63年、地域にコミュニティセンターができたのを機に、親子クラブを押し掛けて立ち上げた。前例がないということで、行政からは何の援助もなかったが、仲間数人と持ち寄りで始まった。幼稚園・保育園に行く前の幼児とその親が集まって、親同士、子ども同士、親子のコミュニケーションを図る場である。現在、ようやく子育て支援が言われてきた。働く女性の環境整備もさることながら、家庭で孤独な子育てをしている母親にも、もっと仲間づくりの場が必要と考える。子どもを産み、育てることは有意義で楽しいことと解ってほしいと願っている。

### リーダーとは

- ① 悪口・愚痴を言わない。(聞き苦しい。言うのではなく、聞き、飲み込むのが良い。)
- ② 楽しく活動する。(楽しくなければ長続きしない。)
- ③ 会員一人一人の個性を把握し、能力を生かす。

- ④ できるだけ他人任せにするが、最後の責任はリーダーがとる。
- ⑤ 他のグループの良いところは真似る。(自身や仲間だけの情報や企画力では行き詰まってしまう。広く情報を得て、良いことは活動に生かせるように工夫する。)
- ⑥ 自分だったらどうしてほしいのかを考える。
- ⑦ 活動費を工面する。
- ⑧ 後継者をつくる。(リーダーとして一番大切な仕事と解っているのに、いまだに会長をやっている。何時も反省しているが、その原因がようやくわかった。この活動を一番楽しんでいるのは私自身ではないのか。そしてもっともっとやりたいことがいっぱいあるのだと。)

このリーダー、どうすればよいでしょうか。



### プロフィール

下館市の川島親子クラブ「小さな部屋」会長。下館市議会議員。

昭和63年川島親子クラブを設立。会員である幼児とその親、およびボランティアで行われ、地道ながら地域のコミュニティの輪を少しずつ広げてきている。また、小さな国際交流として外国人と幼児との交流会を持つなど視野を広く持った活動に取り組んでいる。



母親に仲間づくりの場を提供

# 母と子の健康を守る

～安心して子育てができることを願う～

日立助産婦会

## みなさんと会の生い立ち

「産婆さん」今ではその名前も聞かれなくなり、「助産婦さん」の名前で親しまれてる職業、子どもの命の誕生時に、いなくてはならない助産婦さんたちの会です。

会のみなさんは以前病院に永年勤められ、多くの子どもの出産時に携わった経験豊富なベテランの方々と、その後、家庭に戻られ、または独立

して助産婦を開業されながら、ボランティア活動として地域の方々の母子福祉に関する御世話をされています。

会の歴史は古く、昭和の初期、前身の日本産婆会が設立されました。その後いろいろの変遷を経て、昭和30年に日本助産婦会が創立、同時に「日立助産婦会」も発足しました。会員数は初期は50名でしたが、その後会員が減少して、現在は11名で活動を続けています。



沐浴指導も

は子どもの命をも預かる責任ある仕事の自覚も必要で、気力と体力のいる仕事です。

会員の高齢化によりメンバーの減少が進んでいます。少子化にあっても、子育てに悩むお母さんからの相談が年々多くなり、そのためにも活動は欠かせなく、後継者の育成が必要です。

「助産婦の資格を持っている人、母子福祉、子育ての世話ができる人など多くの方にメンバーに加わってもらい、会の活動を広げたい、また、地域のみなさまにも私たちを利用してほしい。」と会長の鈴木まささんは子育て支援活動に思いを馳せていました。



丁寧に育児相談

## 活動内容

会員相互の親睦と、職業的地位の向上を図るとともに、広く地域住民の”母と子の健康を守る”をモットーに活動を行っており、分娩、沐浴（赤ちゃんのお風呂入れ）、母乳相談等を行っています。

また、母子保健相談室や、自然育児相談室を開いて、発育不安、育児不安の相談に応じたり、電話による相談にも随時応じています。

最近では保健センターで月1回行われる母親学級「プレパパ・ママの子育てスクール」の講師を引き受け、

若い夫婦の子育て相談に応じたり、市主催の「子育て広場」にも参加して、子どもの病気、育児など多くの相談に気軽に対応しています。また、時にはデパートで行われている「育児相談コーナー」に出向いて、若いお母さんたちの相談相手にもなっています。

## 会員の素顔とこれから

メンバーは、皆、真面目で、何事にも一生懸命に取り組んでいます。この姿勢は、この会の特徴であり、誇れる一面でもあります。臨機応変な対応が欠かせなく、時に

問い合わせ  
鈴木 まさ  
TEL 43-5805

## わがまちのガンバリ屋さん

### 出会いが活動の源・地域のパソコン博士

村田 強さん (塙山学区)



村田さんは、4年前「住みよい塙山かわら版」に掲載されていたホームページ作成者募集に応募したことをきっかけに、地域の頭脳としてはなやまのホームページ作成と更新を担当しています。

ホームページ作成に関わったことで自信ができて、他のボランティア活動にも積極的に取り組むようになりました。現在5つのボランティア活動に参加しています。「いろいろな人と活動を通して出会うことが楽しく、元気の基」とのこと。

平成12年度まで視聴覚センター等でパソコン講師としても活動。パソコンは楽しみながら実技を積み、身体で覚えることが何よりも大切で、ひとりでもやるよりも皆でやるのが長く続けられる秘訣だとか。

先天性多発性筋コウ縮症という病気と真正面から向き合い、障害を持っ

ていても閉じこもらず、人とのコミュニケーションを図り前向きでなければと、みなさんとのふれあいが何よりも楽しいと語る村田さん。

種々の資格を取得している村田さんですが、現在は基本情報技術者とMO

コミュニティ活動のさまざまな分野で頑張っている地域のガンバリ屋さんを紹介します。

T (マイクロソフトオフィシャルトレーナー) の資格取得を目指して勉強中。9月までコミュニティ活動は休憩して自分自身のバージョンアップを図ります。

「さらにみなさんにパソコンを楽しんでもらい、また、普及させるためにも、説明の仕方などを教えたい。みなさんのお役に立ちたい。」と、向学心に燃え、夢を熱く語ります。

### ふるさと塾で地域の活性化を

会沢 保子さん (中里地区)

会沢さんは、中里でご夫婦でしいたけ栽培を営んでいます。平成2年に茨城県から婦人農業士に任命され、ヨーロッパ4か国を視察しました。

その経験を買われ、日上市農林水産課が中里地区の女性を対象に発足した「中里ふれあい女性塾」のメンバーに要請されたのが活動の始まりです。現在は自主グループとして、近くの休耕地を借りて、さつまいも・じゃがいもや花づくりを行ったり、収穫期には近くの中里幼稚園児と一緒にいも掘りをしたり、独り暮らしのお年よりにさつまいもをプレゼントしたりして大変喜ばれています。

会沢さんはしいたけ栽培のかたわら、ふるさと塾の塾長、平成12年度開設された市の事業である「夢ひたち農業小学校」の育てる会員として忙しい日々を送っています。農業小学校では、農業など全く経験のない子どもたちが、お米や野菜作りを体験。収穫したお米で餅をついたり、いもをふ



かしたりして収穫の喜びを肌で味わってもらいました。市内の親子50組の募集に100組の応募があったそうです。土にまみれて喜ぶ子どもたちの生き生きとした表情を見ると、疲れも吹き飛ぶと言う会沢さん。

できればふるさと塾の参加者がもっともって増えてくれればいなど期待しながら、これからも子どもたちのため、地域の活性化のためにがんばっていきたくと話していました。

### 日立の よいところ

#### 古房地公園

国道245号線の海側、断崖上の台地に広がる芝生の広場・古房地公園。

公園内にある日立灯台は、船舶の安全航海に役立っています。



### 編集後記

コミュニティ活動に携わっている役員さん方に少しでも役に立つ情報を提供しようとスタッフみんなが協力し、頑張ってきました。

創刊から2年経過を機に、読んでもらえる情報紙、ニーズに合った情報紙づくりをさらに進めることが大切かと思ひます。委員一同努力します。